

高市早苗政権と李在明政権の歴史認識問題

西岡 力 (歴史研究プロジェクト リーダー)

日本の歴史認識問題は、1982年の教科書問題によって中国政府と韓国政府が日本の歴史教科書に対して修正要求を行ったことから始まった。歴史認識問題は日本国内の反日マスコミ・学者・運動家が事実を反する日本非難キャンペーンによって引き起こされた。日本政府は中国や韓国からの内政干渉に対して反論するのではなく、謝罪と譲歩を来る返したことによって問題が深刻化した。

しかし、少数の学者が事実を追究したことにより、1997年に安倍晋三 高市早苗ら若手政治家が勉強会に積極的に参加し、歴史の事実気づいた。政府に歴史問題を担当する部署を設置したのも当時勉強会に参加した政治家が中心となっている。

李在明大統領は歴史認識に関しては合理的左派であり、外交上で高市首相と対立を示していない。一方で、国益のためなら自身の歴史認識を犠牲にすることもできる人物である。